



世界で花開く女性リーダーを目指す | 文部科学省博士課程教育リーディングプログラム  
「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける  
理工系グローバルリーダーの育成

Vol. **11**  
2017.4

# Bouquet

ニュースレター「ブーケ」

Ochanomizu University

理系女性グローバルリーダー育成を目指す リーディングプログラム	02
Photo Gallery in 2016	04
履修生のためのキャリア支援	06
Information	08



プレグローバル研修 ドイツ博物館前にて (記事p.03 参照)



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

# 理系女性グローバルリーダー育成を目指す リーディングプログラム

本学の「博士課程教育リーディングプログラム」は2014年4月に第1期生が活動開始してから、実質3年が経ちました。昨年2016年度には事業の中間評価を受け、3月に「計画通りの取組みであり、現行の努力を継続させることによって本事業の目的を達成することが期待できる」と高い評価を受けました。特にPBTS（英語によるチームスタディ）の各プロジェクトでは、履修生たちが専門分野の枠を超えて自主課題を設定し、協働して課題解決に取り組んでいます。そこでの活動などを通して俯瞰力や課題解決力、英語によるプレゼン力が、身につけてきていると認めていただきました。1年後の2018年3月にはいよいよ、プログラム最初の博士人材が誕生する予定です。引き続き、関係機関の皆様にご協力を頂きながら、さらにプログラムを充実させてまいります。

## 《履修メリット》3つのスキルアップ

主専攻（専門性）



1 イノベーションを創成する  
基盤力

2 グローバル  
リーダー力

3 プロジェクト運営を通じた  
チームワーク力

企業等で即戦力として活躍する人材育成

## 【履修生に聞く】あなたが履修生となった理由は？

私が大学院に進学しようと思ったきっかけは本学に生活者の視点を持った女性研究者を育成する専攻があることを知って、ぜひ医用工学研究室で「歩きながら変形性関節症の痛みを軽減できる歩行補助杖の研究開発」をしたいと思い入学しました。副専攻はイノベーション力の強化やグローバルに活躍できる女性の育成という点に関心を持ち、履修しています。私は主専攻と副専攻を履修することで「健康歩行寿命を延ばすイノベーションの創出」ができる力を身につけることが目標です。

私自身はこれまで企業で中長期のプロジェクトを行っていました。その経験から見ても、この副専攻プログラムで、長期のスパンで取り組むPBTSを経験して社会に出れば、きっと企業で大きなプロジェクトを任せられても自信を持って遂行できる実践力が身につくと思います。

留奥 美希 Tomeoku Miki

所属/ライフサイエンス専攻 人間・環境科学コース



## 【スタディコモンズ教員に聞く】プログラムの特長はなんですか？

スタディコモンズ教員とは、プログラム履修生のチーム研究にてアドバイスする理工系の教員で全員が外国出身者です。(2017年3月現在)



Richards, Gary James (リチャーズ、ゲアリー・ジェームズ) 先生 イギリス出身  
特任准教授 (化学) (Essential Chemistry for Global Leaders 担当)

今までみなさんは、先生を中心とした講義を当然のように受けてきたと思います。しかし、リーディングプログラムでは学生が中心となって、重要なことを討議して決めています。例えば、プロジェクトのテーマ、メンバー構成、個人の役割、実験・調査の企画と実施に関わる事などです。

そして最も大きなチャレンジは、それらの事を全て英語で行うことです。学生たちにとって、母国語だけで研究するよりもずっと時間がかかってしまいます。そうした中で、徐々に良い研究実績が積み上がってきていることに大変嬉しく思います。ここで学んで得たスキルは、将来、国内や海外のどのような職場でも役に立つと信じています。

## 3期生による「プレグローバル研修」を実施しました

日時：2017年2月19日～26日

場所：ドイツ ミュンヘン・シュツットガルト・デュッセルドルフ他

訪問先：Heidelberg 大学, Saarland 大学, Wuppertal 大学, Max Planck Institute, Daimler, SAP, Siemens, Lanxess, Deutsch Museum

学生のグローバルなスキルアップを目標として、本プログラムでは在学中に2回、履修生はインターンシップを経験します。これから研修を行うにあたり、3期生（平成28年4月入学）の履修生7名が海外の産官学を体験する機会として、ドイツの施設（大学・研究所・企業等）を訪問しました。

1週間の強行軍でしたが、歴史ある大学や最先端の研究設備、開発・製造現場を目のあたりにし、第一線の研究者・技術者との意見交換を通じ、世界を実感し「グローバルに活躍する博士人材」へのスタートに向けたよい機会となりました。帰国後、参加した学生による報告会が行われました。





# Photo Gallery in 2016

フォトギャラリー

## PBTS

専門分野の異なる学生同志がチームを形成して、自主課題に取り組んでいます。  
(写真は3期生の話し合いの様子)



## グローバル研修

国内外の研究機関・企業・学外の大学でグローバル研修を実施しています。



Institute of Mathematics Polish Academy の前で



研修先にて (文部科学省)



研修先の方々と



研修者仲間たちと (University of Strasbourg)

## 講義・実習

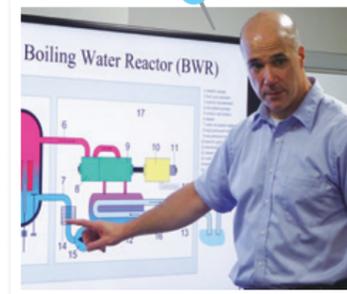
英語で学ぶ Essential 科目シリーズや、様々な分野の最先端機器を使って実習を行うグローバル理工学特別実習を開講しています。



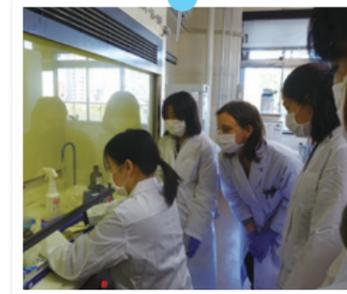
Essential Mathematics



PBTS 先端機器見学



Essential Physics I



Essential Bioinformatics I



Essential Chemistry II

## 交流イベント

企業などからゲスト講師をおよびしての講演会や、また他大学の学生との交流会も継続的に実施しています。



タナーレクチャー講師との対談



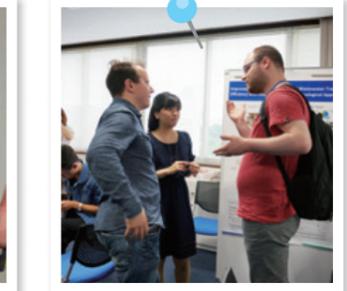
日本文化を紹介する履修生



学外プログラム担当者との意見交換会



企業経営者の講演会



サマープログラム参加者との交流



他大学リーディングプログラムとの交流



## 履修生のためのキャリア支援

博士人材の就職サポートや産業界への出口戦略の充実を図るため、様々なキャリア支援に関するサポートを実施しています。



### グローバル理工学副専攻 第3回キャリアプランセミナー

日時：2016年12月21日(水) 12:30～14:00  
場所：共通講義棟2号館1階102室

企業の最前線でご活躍中の本学出身理系博士の講師をお招きし、理系博士人材のキャリア設計について考えるセミナーを開催しました。当日は、武田薬品工業株式会社 医薬研究本部 生物分子研究所アソシエイトサイエンティフィックフェローの糸野幸子氏と、株式会社 NTT ドコモ（出向先:国立研究開発法人情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所専門研究員）の大西可奈子氏のお二人にご講演いただきました。



糸野 幸子氏



大西 可奈子氏

糸野氏のご講演「なりたい私になる一博士の本当の力」では、これまで携わってこられたプロジェクトについて、大西氏ご講演「博士で鍛え抜く！一変化に打ち勝つ思考力」では、博士課程在籍時の海外留学のご経験などを中心にお話いただきました。履修生以外の本学学生の参加も多くみられ、有意義なセミナーとなりました。



### ポスドク・博士課程生のワークインプログレス

日時：2016年11月16日(水)  
場所：お茶の水女子大学

企業と博士人材の交流会「ポスドク・博士課程生のワークインプログレス」が開催され、プログラム履修生も参加しました。ポスドク・大学院生、企業・機関が多数参加し、活発な情報交換が行われました。企業・機関からのショートセミナーに続き、ポスドク・大学院生の自己アピールの場としてのポスター発表会が行われました。その後、企業・機関がブースを出展して個別に参加学生と交流しました。参加した学生にとって、企業・機関が博士人材に寄せる期待について知る良い機会になりました。



履修生によるポスター発表



企業の方と個別に交流



履修生によるポスター発表



### グローバル理工学特別講義 I 「技術を活用した企業経営入門」

開講期間：2016年12月2日(金)～2017年1月27日(金)  
全7回

平成28年度から、民間企業の経営戦略（事業戦略・研究開発戦略・知財戦略）を理解するために必要となる、知的財産・財務・金融・国際経済・環境・エネルギーなどの基礎知識を学ぶための講義を開講しました。民間企業の具体的な事例も紹介しつつ、理系の学生でも理解しやすい内容で構成されています。

また、講義においては、民間企業の現場の雰囲気を感じていただくため、2人のゲスト講師をお招きしました。

1人目のゲストとして、TVドラマでも有名な「下町ロケット」に登場する弁護士の実在のモデルである鮫島正洋先生にお越しいただきました。理系出身者が弁護士として活躍するに至るまでの経験や、知的財産を経営に役立てるための方策など貴重なお話をお聞きすることができました。

また、大阪のものづくり企業「エンジニア」社長である高崎充弘先生をお招きしました。ヒット商品成功の秘訣として、MPDP（マーケティング、パテント、デザイン、プロモーション）が重要であることを、ご自身の失敗談なども交えつつ楽しく解説いただきました。

全体を通じ、学生の就職活動にも参考となる内容の講義となりました。



鮫島 正洋氏 (2017.1.13)



高崎 充弘氏 (2017.1.27)

### プログラム履修生のためのキャリア相談サポートについて

キャリアコーディネーターは、博士人材採用に前向きな企業、公的研究機関などの繋がりを通じて、博士人材に対する期待や採用動向について履修生に適宜、情報配信しています。履修生には、ガイダンス、個別面談を実施し、将来のキャリアを見据えた博士課程の過ごし方や、国内企業のインターンシップ先についての相談を行っています。さらに就職活動を控えた履修生には、面接で必要となる自己PR方法など個別指導も行い、ジャストインタイムに必要な支援・相談に対応しています。



非常勤講師  
深澤 知憲氏

#### 自己紹介

博士課程学生やポスドクに特化したキャリア支援・採用支援事業を展開する会社を経営しています。

理工系のバックグラウンドを持ち、法人営業やエンジニア採用などを経て、2006年より博士人材のキャリア支援に携わっています。大学の人材育成事業や政府系機関の研究キャリア支援サービス、自社事業など、博士・研究者の育成・キャリア支援を様々な立場から実施してきました。プライベートでも身近に博士・研究者が多く、博士人材の社会での活躍を支援することに一方ならぬ思いを持って取り組んでいます。

## ■ 活動報告

2017年1月4日	mQE (middle Qualifying Examination) 開始 (~ 3月31日まで)
2017年1月13日	平成28年度第2回グローバル研修報告会
2017年1月13日	入門ゲスト講義: 鮫島 正洋 弁護士 / 弁理士
2017年1月18日	平成29年度4月期学生募集説明会
2017年1月27日	入門ゲスト講義: 高崎充弘 (株) エンジニア代表取締役社長
2017年2月3日	PBTSにてベトナム研究者によるレクチャー実施
2017年2月16日	Dr. Sylvette セミナー (化学科&リーディング大学院講演会)
2017年2月19日~26日	プレグローバル研修
2017年2月22日	平成29年度4月選抜試験 (iQE)
2017年2月28日	合格発表
2017年3月7日	国際シンポジウム「企業における女性博士人材への期待」
2017年3月15日	pQE (periodic Qualifying Examination)
2017年3月20日	第3回4大学合同リーディングプログラム交流会
2017年3月24日	プレグローバル研修およびグローバル研修報告会
2017年3月29日	Prof. Chmielewski & Prof. Hrycyna セミナー (化学科&リーディング大学院講演会)
2017年3月31日	選抜試験② (iQE)
2017年4月14日	平成29年度4月期履修生のガイダンス
2017年4月15日	大学院オープンキャンパス
2017年4月21日	第1回キャリア支援セミナー

## ■ 平成29年度4月科目開講情報

2017年4月10日開講	Essential Mathematics for Global Leaders I
2017年4月11日開講	Essential Chemistry for Global Leaders I
2017年4月11日開講	グローバル理工学特別講義 III “PEACE EDUCATION”
2017年4月12日開講	Essential Computer Science for Global Leaders I
2017年4月12日開講	Essential Engineering and Technology for Global Leaders II

## ■ グローバル研修 I・II 実施状況 (2017年3月末現在)

### 【グローバル研修 I】

2016年12月~2017年4月	東京大学 (日本)
2017年3月~2017年6月	カリフォルニア大学デビス校 (アメリカ)

### 【グローバル研修 II】

2016年11月~2017年5月	Laboratory of Subatomic Physics & Cosmology, Grenoble (フランス)
2017年1月~2017年4月	株式会社ウェザーニューズ (日本)
2017年3月~2017年6月	チャルマース工科大学 (スウェーデン)

## 編集後記

2013年にスタートしたプログラムも折り返しを過ぎました。履修生の活動中の写真を振り返ってみてみると、スタートした頃に比べ、笑顔を探すのが難しく、皆真剣に活動にとりくんでいるのがわかります。この日々の努力の成果が発揮され、将来無事に社会に飛び立ち履修生が活躍する日がくることを願っています。

お茶の水女子大学  
リーディング大学院推進センター

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1  
人間文化創成科学研究科棟 601 室  
E-mail: leading-ocha@cc.ocha.ac.jp  
TEL: 03-5978-5775

